



Community Letter

コミュニティーレター

神戸国際中学校・高等学校
〒654-0081 神戸市須磨区高倉台7-21-1
TEL : 078(731)4665 FAX : 078(731)4888
HP : <http://www.kis.ed.jp/>

No.223 2017年9月6日

夏季休業中行事の報告

Aブロックサマーキャンプ in 琵琶湖

7月25日～27日の2泊3日でAブロックがサマーキャンプに行ってきました。朝元気よく集合し出発式を行った後、バスにて移動。渋滞もありましたが、最初の目的地である琵琶湖博物館に到着。ここでは生徒たちは、後日班ごとに行う発表に向けて調べながら見学をしました。琵琶湖に生息する生き物などが見られる水族館もあり、時間いっぱいまで見学をしていました。その後、近江聖人といわれた日本陽明学の祖、中江藤樹の住居跡を訪れ、案内の方からお話を聞きました。それから今回お世話になる白浜荘に到着。宿舎の目の前には、まるで海のような琵琶湖が広がっており、夕食はその湖畔でバーベキューを楽しみました。



2日目は、午前中に染物体験とキャンドル作りを体験。宿舎のある高島には昔からの商家が多く残っており、今回訪れた建物も江戸時代から残っているものだと教えていただきました。初めての絞り染め体験でしたが、できあがって見ると、どれも素晴らしい作品となっており、良いお土産になったと喜んでいました。午後はいよいよ琵琶湖でのカヤック体験です。スタッフの方から丁寧に教えてもらいながら一人ずつカヤックに乗り込みます。始めは転覆しないか恐る恐る、ぎこちなかった生徒も徐々に慣れていくと、自分でスピードの調整をしたり、方向転換ができるようになりました。次に二人乗りのカヤックに乗り込み、最後は班対抗でリレー競争。見事1年生の班が優勝しました。夜はお楽しみのキャンプファイヤー。カヤックでの疲れがないかのように、みんなで盛り上がり楽しんでました。

3日目は針江の生水の郷(しょうずのさと)を訪れました。ここは昔から各家々に「かばた」と呼ばれる水の湧き出す場所があり、そこで野菜を洗ったり、鯉を飼ったりしながら生活をしています。現地のボランティアガイドの方々に案内してもらいながら、水と人のつながりの大切さを教えていただきました。

今回のキャンプを通して学んだ、お互いに協力すること、集団生活でのきまりを守ること、そして自然と人間との関わりの大切さを是非これからの学校生活にも活かして欲しいと願っています。(Aブロック引率教員)



2017年度 カナダ研修を終えて

2009年度より始まった中学生対象の海外研修も今年で9回目を数えることとなりました。今年は7月31日～8月8日までの9日間、中学1年生4名、2年生7名、3年生5名の16名が参加しました。このプログラムは現地のネイティブ教師による英語漬けの授業と一人ずつのホームステイ生活を通して、グローバル社会で求められる、「自信やコミュニケーション能力、自己表現力、異文化を尊重する心」の育成を目標にしています。



ナチュラルスピードにとまどいながらも、理解できた時の喜び、自分の言葉が通じた時の達成感、文化は違っても、なんとか理解しようとしてくださるホストファミリーの心配りなどに触れながら、大小様々な成功や失敗の経験を10代の若い時期に体験できることは非常に有意義なものであると確信しています。今回このような機会を与えてくださった保護者の方々に感謝を申しあげますと同時に、この研修が生徒たちにとって、一粒の種となり、やがて大きく成長し、将来大輪の花を咲かせる日がくることを願っております。

(引率教員)



J3 イングリッシュキャンプ

7月18日、19日、1泊2日、ユニットピアささやまでJ3のイングリッシュキャンプが行われました。学校でのオープニングセレモニーではリラックスしている様子でしたが、2クラスに分かれ、ネイティブの先生によるレッスンが始まると、真剣な表情で課題に取り組んでいる様子でした。レッスンははじまって3時間くらいたつと、少し疲れが見え始めましたが、英語によるダーツゲームやカルタゲームには元気に参加しているようでした。夕食後、翌日の英語によるプレゼンテーションの準備をしました。2日目、体調不良者もなく、朝食を終え、散策をしました。散策後、最後のプレゼン準備にかかりました。そして本番。どのグループもがんばって日本の文化についてのプレゼンをしました。お別れのセレモニーではお世話になったお礼にサプライズでアメイジンググレイスを歌いました。あっという間の2日間でしたが、1人1人にとって充実した時間になったと思います。

(J3引率教員)



S2 修学旅行 ～シンガポール～

2017年度より KIS では高校入学者を対象に修学旅行を開始しました。これは開校以来、初めての行事であり KIS にとっては新しい歴史が刻まれたといえます。今年度は7月26日より4泊5日で高校2年生（高校入学の1期生と希望者、合計36名）がシンガポールを訪れました。同国は淡路島ほどの国土面積ですが経済の急速な発展に伴い、アジアを代表する国家として発展しました。また地理的な位置も関係して様々な民族が暮らしており、諸民族の文化が融合した独特な雰囲気を醸し出しています。同じアジアでありながらも日本とは異なる点が多く、学ぶ事が多い国といえます。初日は世界的に有名なチャンギ国際空港に到着し、夜景を楽しみました。シンガポールフライヤー（観覧車）や植物園、世界最大の金融地ならではの高層ビル街のイルミネーションが本当に綺麗でした。

旅行中、生徒はこれまでの学習の成果を生かし、全て英語で現地の人々との交流を図りました。去年のNZ研修での経験から、初めて訪れるマーライオンパークやチャイナタウンでも臆することなく会話ができていました。夜、宿舎に戻ってきた生徒たちに各地で体験したことを聞くと、シンガポールの文化的特性を振り返りつつ、「感動的だった」、「日本とは異なり、はっとさせられることがあった」など、嬉々として語ってくれました。

シンガポールは政府によって様々な取り組みが実施されているため、労働者は所得の多くを国に納めます。お酒やタバコなどには高い税金がかけられ、国民の健康や、国の治安維持にとっても力を入れています。日本を離れることで、海外の生活の中にある日本との「違い」を感じたことでしょうか。また、建国記念日が近く、パレードのリハーサルや戦車や戦闘機、花火といった、普段は見られない雰囲気も味わうことができました。今回の修学旅行を通じ、学友との絆はもちろん国際的な教養も深められたことを確信しております。

(S2 引率教員)



2017年度 オラトリカルコンテストのお知らせ

KIS オラトリカルコンテスト&フランス語リサイタルを下記の要領で開催いたします。

日時	2018年2月3日(土) 12時20分～
場所	神戸新聞松方ホール
テーマ	Open Doors : Finding Our Road to the Future

今年は第1部では従来の英語コンテストに加え、各学年がパワーポイント等を使って授業成果を発表します。また、たくさんの生徒に舞台上で発表してほしいという目的で、会場を神戸新聞松方ホールに移しました。日々の英語科・仏語科の取り組みをご理解頂ければ幸いです。どうぞ、ご予定にお含み下さい。

神戸新聞 松方ホール

〒650-0044 兵庫県神戸市中央区東川崎町1-5-7 神戸情報文化ビル
TEL:078-362-7111



9、10月 教育相談・カウンセリング日程

(担当：S.T先生)

9月					
1日(金)	6日(水)	8日(金)	12日(火)	15日(金)	19日(火)
22日(金)	26日(火)	27日(水)			
10月					
4日(水)	6日(金)	10日(火)	13日(金)	17日(火)	20日(金)
24日(火)	27日(金)	31日(火)			



Aブロック

夏休み中のサマーキャンプでは3日間仲間と寝食を共にし、協力して活動することで、仲間の新たな一面を発見し、さらに絆も深まったのではないのでしょうか。いよいよ2学期のスタートです。今一度、日々の生活や学習に目を向け、『早寝早起き』や『家庭での学習時間の確保』など良い習慣を身につけていきましょう。

J1-1 担任 K.Y

夏休みが終わり、J2の教室ににぎやかな声に戻ってきました。2学期のスタートです。さて、学年の目標を忘れていませんか？「集中しよう」「自立しよう」「まわりを思いやろう」でしたね。4月から始まった2年生はもう半年を過ぎようとしています。少しずつ目標達成へ向かってはいると思いますが、まだまだです。2学期は1年の中で最も長い学期です。目標達成にぐっと近づける、成長のある2学期にしましょう。

J2-2 担任 R.S

Bブロック

いよいよ2学期が始まりましたね。J3の2学期はKIS生活の折り返し地点に近づく、とても大切な時期です。勉強も大学受験につながる内容に入ってきています。課題レポートや生徒会選挙など、大変忙しくなると思いますが、これからの進路のことも考えなければなりません。一日一日を大切に、やるべきことにしっかりと取り組んでいきましょう。

J3-1 担任 S.Y

S1生は夏休みに大学のオープンキャンパスに赴きました。将来の自分がキャンパスライフを満喫している姿や、学問と向き合っている姿を想像したと思います。そしてその大学に「行きたい」と心に誓ったことでしょう。そのためにすべきことは皆さんならお分かりですね。やはり、毎日の学習の積み重ねです。9月は時間的な余裕があるので、これまでの復習もすることで基礎を強固なものにし、大学に「受かる力」を養っていきましょう。

S1-3 担任 S.T

Cブロック

23回生のみなさん、面談後に変わった『行動』はありますか。人は知れば知るほど、たくさんものに目を向けられるようになります。それ故に、悩むことも増えてきますが、その状況でも『行動』することが求められます。精神的な成長は、受験に向かう上で知識と同じくらい大事です。立ち止まらず『行動』してゆきましょう。

S2-2 担任 H.R

天王山の夏が過ぎていきます。どれだけの取り組みができたでしょうか。その積み上げてきたものが土台となって今後さらに力が上がるはず。信じて進みましょう。そして9月から本格的に推薦入試出願を迎えます。実際の受験本番が迫ってきますが、焦らずに、今まで培ってきた実力を100%発揮することを念頭に置き、日々の体調管理など勉強以外の面にも対応してください。模試も大詰め、最終確認のために有効活用を。気合いを入れ直し、合格を勝ち取りましょう！

S3-1 担任 T.Y